



J-B Weld クリアウエルド インジェクター

バージョン番号: 3.12.3.1
安全データシート - JIS Z 7253 : 2019 準拠

発行日: 2022.12.07
印刷日: 2022.12.07
S.GHS.JPN.JA

セクション1 化学品及び会社情報

製品に関する情報

製品名	J-B Weld クリアウエルド インジェクター Part A
化学物質名	該当しない
同義語	50101,50112,50114,50114H,50132,50240,50240H,8212
他の製品特定手段	データ無し

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途及び使用上の制限	
--------------	--

供給者の詳細

供給者の会社名称	J-B Weld Company, LLC	J-B Weld Company, LLC
住所	400 CMH Road Sulphur Springs TX 75482 United States	400 CMH Road Sulphur Springs, TX 75482 United States
電話番号	903-885-7696	903-885-7696
FAX番号	903-885-5911	903-885-5911
ホームページ	www.jbweld.com	www.jbweld.com
e-メール	info@jbweld.com	info@jbweld.com

緊急連絡電話番号

会社名	InfoTrac	InfoTrac
緊急連絡電話番号	Tokyo +81 3-6388-0366	For US and Canada (24 hour): 1-800-535-5053
その他の緊急連絡電話番号	データ無し	データ無し

セクション2 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の分類

分類 [1]	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A, 皮膚腐食性/刺激性 区分2, 皮膚感受性 区分1
凡例:	1. Chemwatchによる分類; 2. 日本 NITE GHS 分類データベースによる分類; 3. EC 規則 1272/2008 - 附属書 VIによる分類

GHSラベル要素

絵表示:	
注意喚起語	警告

危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き: 安全対策

P264	使用后、皮膚や目のまわりを洗うこと
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P261	ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

注意書き: 応急措置

P308+P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P302+P352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
P305+P351+P338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P333+P313	皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P337+P313	眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P304+P340	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

注意書き: 保管(貯蔵)

P405	施錠して保管すること。
P403+P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

注意書き: 廃棄

P501	内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って、認可を受けた有害または特別廃棄物処理場に廃棄すること。
ビスフェノールFのジグリシジルエーテル	委員会規則 (EU) 2018/1881 内分泌かく乱物質に関する固有の要件に記載されている

セクション3 組成および成分情報

物質

混合物の組成については、以下のセクションを参照してください

混合物

CAS番号	%[重量]	名称	官報公示整理番号		ナノフォーム粒子特性
			化審法	安衛法	
3101-60-8	<5	Pタルトブチルフェニル			データ無し
25068-38-6	<98	エポキシ レジン			
凡例:	[e] 内分泌かく乱作用をもつと認められている物質				

セクション4 応急措置

必要な応急措置の説明

眼に入った場合	<p>眼に入った場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちにきれいな流水で15分-20分洗浄すること。 ▶ 洗眼は、眼球、顔の隅々まで水がよく行き渡るように行うこと。 ▶ 速やかに医師の手当てを受けること。痛みが続いたり繰り返す場合は、医師の手当てを受けること。 ▶ 眼に損傷がある場合、コンタクトレンズの取り外しは、専門家に任せること。
皮膚に付着した場合	<p>皮膚に付着した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに汚染された衣類すべて(履物を含む)を脱がせること。 ▶ 流水で皮膚および毛髪を洗浄すること。必要に応じて石鹸を使用すること。 ▶ 炎症がある場合には、医師の手当てを受けること。
吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ガスや燃焼生成物を吸入した場合、汚染区域から退去すること。 ▶ 患者を寝かせ、体を温めて安静を保つこと。 ▶ 義歯等の装具は気道を塞ぐおそれがあるため、可能であれば応急措置を施す前に取り外すこと。 ▶ 呼吸が停止している場合は、デマンドバルブ式人工蘇生器、バックバルブマスク、ポケットマスクなどを使用して人工呼吸を行うこと。必要に応じて心肺蘇生を行うこと。 ▶ 病院または医師のもとへ速やかに搬送すること。

飲み込んだ場合

- ▶ 直ちにうがいをすること。
- ▶ 応急措置は通常必要とは考えられていない。懸念がある場合には、医師に相談すること。

医師に対する特別な注意事項

対症療法を行うこと。

セクション5 火災時の措置

消火剤

- ▶ 特になし

特有の危険有害性

火災の際に避けるべき条件	特になし
--------------	------

消火活動に関する情報

特有の消火方法	<ul style="list-style-type: none">▶▶▶▶
火災及び爆発の危険性	<ul style="list-style-type: none">▶▶

セクション6 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

セクション 8 参照

環境に対する注意事項

セクション 12 参照

封じ込め及び浄化の方法及び機材

小規模漏出の場合	<ul style="list-style-type: none">▶ 直ちに全ての漏出物を除去すること。▶ 皮膚および目との接触を避けること。
大規模漏出の場合	<ul style="list-style-type: none">▶ 現場から人員を退去させ、風上へ移動させること。▶ 消防に通報し、事故の場所と危険有害性に関する情報を伝えること。

個人用保護具に関する情報については、SDSのセクション8をご参照ください。

セクション7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項	<ul style="list-style-type: none">▶ 十分換気できる環境で使用すること▶
他の情報	<ul style="list-style-type: none">▶ 元の容器のまま保管すること。▶ 容器を完全に密封して保管すること。

混触危険性を含む、安全な保管条件

適切な保管条件	<ul style="list-style-type: none">▶▶▶▶
避けるべき保管条件	<ul style="list-style-type: none">▶▶▶▶▶

セクション8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

許容濃度(OEL)

成分に関する情報

出典	成分	物質名	TWA	STEL	ピーク	注記
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						

緊急ばく露限度

成分	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3

成分	オリジナルIDLH	改訂IDLH

職業暴露バンディング

成分	職業暴露バンド評価	職業暴露帯域制限
		≤ 0.1 ppm
		≤ 0.1 ppm
		≤ 0.1 ppm
注記:	職業暴露バンディングは、化学物質の効力および曝露に関連する有害な健康上の結果に基づいて、特定のカテゴリまたはバンドに化学物質を割り当てるプロセスです。このプロセスの出力は、労働者の健康を守ることが期待される露光濃度の範囲に対応する職業暴露バンド (OEB) 、です。	

ばく露管理

適切な工学的管理方法	▶ ▶
------------	--------

個人保護措置	 
眼/顔面の保護	▶ ▶
皮膚の保護	以下の手の保護具を参照してください。
手/足の保護	<p>注記:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 人によっては何らかの皮膚刺激を生じることがある。手袋および他の保護具を脱ぐ際には、あらゆる皮膚接触を避けるよう細心の注意を払うこと。 ▶ 靴・ベルト・時計バンドなどの革製品に汚染物が付着した際は、脱ぎ捨て（または取り外し）廃棄すること。 ▶ 液体状のエポキシ樹脂を取り扱う際は、化学用保護手袋（ニトリルゴムまたはニトリルブタールエーネゴム製）、安全長靴およびエプロンを着用すること。
身体の保護	以下の他の保護具を参照してください。
他の保護	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 手袋等 <p>清潔で不浸透性のある保護衣、手袋、長靴、および吸気口付き外気フードを着用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ▶ ▶ ▶

呼吸用保護具

セクション9 物理的及び化学的性質

物理的および化学的性質に関する基本情報

外観			
物理的状態	透明な液体	比重 (水 = 1)	1.15 g/cm ³
臭い	データ無し	n-オクタノール/水 分配係数	データ無し
臭気閾値	データ無し	自然発火温度 (°C)	データ無し
pH (製品)	データ無し	熱分解温度	データ無し
融点 / 凝固点 (°C)	データ無し	粘度 (cSt)	データ無し
沸点/沸騰範囲(°C)	データ無し	分子量 (g/mol)	データ無し
引火点 (°C)	135°C	味	データ無し
蒸発速度	データ無し Not Available	爆発性	データ無し
引火性	データ無し	酸化作用	データ無し
爆発範囲-上限(%)	データ無し	表面張力 (dyn/cm or mN/m)	データ無し
爆発範囲-下限(%)	データ無し	揮発成分 (%vol)	データ無し
蒸気圧 (kPa)	データ無し	ガスグループ	データ無し
水溶解性	混ざらない	溶液のpH (1%)	データ無し
蒸気密度 (大気 = 1)	2.15	VOC g/L	データ無し
ナノフォーム溶解度		ナノフォーム粒子特性	
粒子サイズ			

セクション10 安定性及び反応性

反応性	セクション7 参照
化学的安定性	製品は安定しており、危険な重合反応は起こらないと考えられる。
危険有害反応可能性	セクション7 参照
避けるべき条件	セクション7 参照
混触危険物質	セクション7 参照

危険有害な分解生成物

セクション 5 参照

セクション11 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

吸入した場合	
飲み込んだ場合	
皮膚に付着した場合	
眼に入った場合	人の眼に刺激を引き起こす可能性がある。同上 ケミカル2種
慢性毒性	

内分泌かく乱特性

多くの化学物質は、内分泌系として知られる、人体のホルモンを模倣したり阻害したりすることがある。内分泌かく乱物質は、内分泌（またはホルモン）系を阻害する可能性のある化学物質である。内分泌かく乱化学物質は、体内で自然分泌されるホルモンの合成、分泌、輸送、結合、作用、または分解・排泄を阻害する。ホルモンによって制御されている体内のシステムは、内分泌かく乱化学物質によって狂わされることがある。具体的には、内分泌かく乱化学物質は、学習障害の発生、さまざまながんおよび性的発達障害などの身体形態異常に関係している可能性がある。内分泌かく乱化学物質は動物に悪影響を及ぼす。しかし、人体への潜在的な健康影響については、限定的な科学的情報が得られていない。人類は通常、一度に複数の内分泌かく乱化学物質にばく露しており、公衆衛生への影響を評価することが困難であるためである。

エポキシレジン プロピルエチル	毒性	刺激性
	皮膚に炎症をひき起こす場合がある。	データ無し
	毒性	刺激性
		データ無し
	毒性	刺激性
	毒性	刺激性
Limestone	毒性	刺激性
Quartz	毒性	刺激性

	毒性	刺激性
	毒性	刺激性
	毒性	刺激性
	毒性	刺激性

凡例: 1. 欧州ECHA登録物質 - 急性毒性 - から得られた値。 2. *の値は製造者のSDSから得られた値。 特に注記のないデータはRTECSから抽出した値。

カーボンブラック & アルミナホウ珪酸ガラス	文献調査では、有意な急性毒性データは確認されていない。

急性毒性	発がん性
皮膚腐食性/刺激性	生殖毒性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
呼吸器感受性又は皮膚感受性	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
生殖細胞変異原性	誤えん有害性

凡例: ✖ - データ利用不可または、区分に該当しない
✔ - 分類済み

セクション12 環境影響情報

生態毒性

エポキシ レジン	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	EC50 - Scenedesmus capricornutum	9 mg/L-48h		データ無し
	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し

凡例: 1. IUCLID毒性データ 2. 欧州ECHA登録物質 - 生態毒性情報 - 水生毒性 3. EPIWIN Suite V3.12 (QSAR) - 水生毒性データ (予測) 4. 米国環境保護庁, Ecotoxデータベース - 水生毒性データ 5. ECETOC水生環境有害性評価データ 6. NITE (日本) - 生物濃縮性データ 7. METI (日本) - 生物濃縮性データ 8. ベンダーデータ から抽出

金属について:
 大気中運命 - 金属含有無機物質は一般に蒸気圧が無視できる程度であり、大気中に分配されることは期待されていない。
 環境中運命: 酸化、酸または塩基の存在、微生物学的プロセスなどの環境プロセスは、不溶性金属をより可溶性のイオン型に転換する可能性がある。環境プロセスは生物学的利用能を高める可能性があり、溶解度を変える上でも重要である可能性がある。

残留性・分解性

成分	残留性: 水域/土壌	残留性: 大気

生体蓄積性

成分	生物濃縮性

成分	生物濃縮性

土壤中の移動性

成分	移動性

内分泌かく乱特性

人体よりも環境中で、有害影響と内分泌かく乱化学物質とを関連付ける、より説得力のある証拠が見られる。内分泌かく乱化学物質は、生態系の生殖生理学を大きく変化させ、最終的には個体群全体に影響を与える。一部の内分泌かく乱化学物質は、環境中での分解速度が遅い。その特性により、長期間にわたって潜在的な有害性を有する。さまざまな野生生物種における内分泌かく乱化学物質のいくつかの十分に確立した有害影響には、卵殻薄化、異性的特徴および生殖発生障害の発現などがある。示唆されているが証明されていない野生生物種における他の有害影響には、生殖異常、免疫機能障害、骨格変形などがある。

セクション13 廃棄上の注意**廃棄方法**

製品 / 容器 / 包装の廃棄方法	
	<ul style="list-style-type: none">▶ 容器は空であっても化学的な危険有害性を有していることがある。▶ 可能な場合、適切な再使用 / リサイクルのため、製造者に返送すること。▶ 製造者にリサイクルの可否を問い合わせ、可能な場合はリサイクルすること。▶ 廃棄する場合は廃棄物の処理を管理している都道府県・市町村に問い合わせること。

セクション14 輸送上の注意**要求されるラベル**

海洋汚染物質	
	該当しない

陸上輸送 (ADG): 危険物輸送規制対象外**航空輸送 (ICAO-IATA / DGR): 危険物輸送規制対象外****海上輸送 (IMDG-Code / GGVSee): 危険物輸送規制対象外****MARPOL 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送**

該当しない

MARPOL 附属書 V 及び IMSBC コードによるばら積み輸送

製品名	グループ
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し

ICG コードによるばら積み輸送

製品名	輸送タイプ
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し

セクション15 適用法令

物質又は混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

bisphenol A diglycidyl ether polymer に関する適用法令

Japan Chemical Substances Control Law - Type II Monitoring Chemical Substances (before amendment)

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 優先評価化学物質

日本 労働安全衛生法

日本 労働安全衛生法(ISHA) - 強い変異原性が認められた化学物質 / 既存化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 旧第二種監視化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律: 優先評価化学物質

日本 政府によるGHS分類

gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane に関する適用法令

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

カーボンブラック に関する適用法令

Japan Occupational Exposure Limits - Carcinogens

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

世界保健機関(WHO) ナノ物質製造のための提案職業ばく露限度(OEL)

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質 - グループ 2B : ヒトに対して発がん性がある可能性がある

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本安衛法: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

Limestone に関する適用法令

日本 粉塵の許容濃度

Quartz に関する適用法令

Japan Occupational Exposure Limits - Carcinogens

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質 - グループ 1 : ヒトに対する発がん性がある

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 製造輸入量の届出を要しない物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本安衛法: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

1,4-butanediol diglycidyl ether に関する適用法令

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

日本 労働安全衛生法(ISHA) - 強い変異原性が認められた化学物質 / 既存化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 政府によるGHS分類

アルミナホウ珪酸ガラス に関する適用法令

日本 粉塵の許容濃度

切削鉄くず又は切削鋼くず に関する適用法令

日本 労働安全衛生法 - 危険物

日本 粉塵の許容濃度

消防法

ビスフェノールFのジグリシジルエーテル に関する適用法令

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 文書の交付		
	政令名称	政令番号	
	名称等を表示すべき危険物及び有害物		
	政令名称	政令番号	
	製造の許可を受けるべき有害物		
	政令名称	政令番号	
	該当しない	該当しない	
	関連する法令・条例		
	危険物 - 酸化性の物	該当しない	
	危険物 - 引火性の物	該当しない	
	有機溶剤	該当しない	
	特定化学物質	該当しない	
化管法 -	分類	政令名称	政令番号
	該当しない	該当しない	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない		

化審法	優先評価化学物質	
	第1種特定化学物質	該当しない
	第2種特定化学物質	該当しない
	監視化学物質	該当しない
	一般化学物質	

国別インベントリ状況

国別インベントリ	状況
オーストラリア - AIIC / オーストラリア非工業用	Yes
カナダ - DSL	
カナダ - NDSL	
中国 - IECSC	Yes
欧州 - EINEC / ELINCS / NLP	Yes
日本 - ENCS	
韓国 - KECI	Yes
ニュージーランド - NZIoC	Yes
フィリピン - PICCS	Yes
米国 - TSCA	Yes
台湾 - TCSI	Yes
メキシコ - INSQ	
ベトナム - NCI	Yes
ロシア - FBEPH	
凡例:	Yes = 全ての成分がインベントリに記載されている No = 1つあるいはそれ以上のCAS開示成分が未記載であり、かつ、インベントリの対象外ではない (カッコ内の成分名参照)

セクション16 その他の情報

改訂日	05/18/2021
最初の発行日	08/31/2020

SDSバージョンの概要

バージョン	改訂日	更新されたセクション
2.12.2.1	04/26/2021	規制の変更
2.12.3.1	05/13/2021	規制の変更
2.12.3.1	05/17/2021	分類, 環境, 成分, 品名

他の情報

製品および各成分の分類は、公式かつ信頼性の高い情報源や、参考文献を使用したChemwatch分類委員会独自の評価によるものです。SDSはハザードコミュニケーションのツールであり、リスクアセスメントの一助として使用されるべきである。掲載されているハザードが、作業場やその他の環境においてリスクをもたらすか否かは、様々な要素により決定される。暴露シナリオを参照することにより、リスクが特定されることもある。使用規模、使用頻度および現行の設備管理も考慮しなければならない。

ChemwatchのAuthorITeで作成しました。



J-B クリアウエルド インジェクター Part B

バージョン番号: 2.5.3.1
安全データシート - JIS Z 7253 : 2019 準拠

発行日: 2022.12.07

S.GHS.JPN.JA

セクション1 化学品及び会社情報

製品に関する情報

製品名	クリアウエルド インジェクター - Part B
化学物質名	該当しない
同義語	50112,50112H50114,50114H,50132,50240,50240H,8212
他の製品特定手段	データ無し

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途及び使用上の制限	製造者の指示に従い使用すること。
--------------	------------------

供給者の詳細

供給者の会社名称	J-B Weld Company, LLC
住所	400 CMH Road Sulphur Springs TX 75482 United States
電話番号	903-885-7696
FAX番号	903-885-5911
ホームページ	www.jbweld.com
e-メール	info@jbweld.com

緊急連絡電話番号

会社名	InfoTrac
緊急連絡電話番号	Tokyo +81 3-6388-0366
その他の緊急連絡電話番号	データ無し

セクション2 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の分類

分類 [1]	皮膚感作性 区分1 目感作性 区分2A 皮膚感作性 2 引火性液体 4
凡例:	1. Chemwatchによる分類; 2. 日本 NITE GHS 分類データベースによる分類; 3. EC 規則 1272/2008 - 附属書 VIIによる分類

GHSラベル要素

絵表示:	
注意喚起語	警告

危険有害性情報

H227	燃料系の液体
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H315,H319	皮膚感作性 区分1 目感作性 区分2A

注意書き: 安全対策

P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
------	---------------------------

P261	ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264	使用后、皮膚と目を洗う
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

注意書き: 応急措置

P302+P352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
P333+P313	皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

注意書き: 保管(貯蔵)

--	--

注意書き: 廃棄

P501	内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って、認可を受けた有害または特別廃棄物処理場に廃棄すること。
------	---

セクション3 組成および成分情報

物質

混合物の組成については、以下のセクションを参照してください

混合物

CAS番号	%[重量]	名称	官報公示整理番号		ナノフォーム粒子特性
			化審法	安衛法	
112-24-3	<5	_____ アミンミックス			データ無し
100-51-6	<2	_____ 液体添加物 1			データ無し
72244-98-5	<90	_____ 硬化剤			データ無し
140-31-8	<5	_____ アミン 2			データ無し
25620-58-0	<5	_____ アミン 3			データ無し
39423-51-3	<5	_____ アミン 4			データ無し
3033-62-3	<1	_____ アミン 5			データ無し
919-30-2	<2	_____ 液体添加物 2			データ無し

凡例:	[e] 内分泌かく乱作用をもつと認められている物質				

セクション4 応急措置

必要な応急措置の説明

眼に入った場合	眼に入った場合: ▶ 直ちにきれいな流水で洗浄すること。 ▶ 洗眼は、眼球、瞼の隅々まで水がよく行き渡るように行うこと。 ▶ 速やかに医師の手当てを受けること。痛みが続いたり繰り返す場合は、医師の手当てを受けること。 ▶ 眼に損傷がある場合、コンタクトレンズの取り外しは、専門家に任せること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合: ▶ 直ちに汚染された衣類すべて(履物を含む)を脱がせること。 ▶ 流水で皮膚および毛髪を洗浄すること。必要に応じて石鹸を使用すること。 ▶ 炎症がある場合には、医師の手当てを受けること。
吸入した場合	▶ ヒューム、エアゾールまたは燃焼生成物を吸入した場合、汚染区域から退去すること。 ▶ 通常、他の措置を講じる必要はないと考えられている。
飲み込んだ場合	▶ 直ちにコップ1杯の水を飲ませること。 ▶ 応急措置は通常必要とは考えられていない。懸念がある場合には、医師に相談すること。

医師に対する特別な注意事項

対症療法を行うこと。

セクション5 火災時の措置

消火剤

- ▶ 使用してもよい消火剤の種類に制限はない。
- ▶ 周囲の環境に応じて適切な消火剤を使用すること。

特有の危険有害性

火災の際に避けるべき条件	知見なし。
--------------	-------

消火活動に関する情報

特有の消火方法	<ul style="list-style-type: none">▶▶▶▶
火災及び爆発の危険性	<ul style="list-style-type: none">▶▶▶▶

セクション6 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

セクション 8 参照

環境に対する注意事項

セクション 12 参照

封じ込め及び浄化の方法及び機材

小規模漏出の場合	<ul style="list-style-type: none">▶ 直ちに全ての漏出物を除去すること。▶ 皮膚および目との接触を避けること。
大規模漏出の場合	<ul style="list-style-type: none">▶ 軽微な危険有害性。▶ 現場から人員を退去させること。

個人用保護具に関する情報については、SDSのセクション8をご参照ください。

セクション7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項	<ul style="list-style-type: none">▶ 換気がおこなわれている場所で使用すること▶
他の情報	<ul style="list-style-type: none">▶ 元の容器のまま保管すること。▶ 容器を完全に密封して保管すること。

混触危険性を含む、安全な保管条件

適切な保管条件	<ul style="list-style-type: none">▶ ポリエチレン製またはポリプロピレン製容器▶ 製造者が推奨する容器を使用すること。▶ すべての容器に明確なラベルが貼り付けられていることおよび漏れがないことを確認すること。
避けるべき保管条件	<ul style="list-style-type: none">▶▶▶▶▶▶

セクション8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

許容濃度(OEL)

成分に関する情報

出典	成分	物質名	TWA	STEL	ピーク	注記
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）	液体添加剤 1	Liquid additive #1	10.0mg/m3	データ無し	データ無し	100-51-6

出典	成分	物質名	TWA	STEL	ピーク	注記
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)	アミン混合	Amine Mix	1.0 ppm	データ無し	データ無し	112-24-3
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						
日本産業衛生学会：許容濃度 (粉塵の許容濃度)						

緊急ばく露限度

成分	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3



成分	オリジナルIDLH	改訂IDLH

職業暴露バンディング

成分	職業暴露バンド評価	職業暴露帯域制限
注記:	職業暴露バンディングは、化学物質の効力および曝露に関連する有害な健康上の結果に基づいて、特定のカテゴリまたはバンドに化学物質を割り当てるプロセスです。このプロセスの出力は、労働者の健康を守ることが期待される露光濃度の範囲に対応する職業暴露バンド (OEB)、です。	

ばく露管理

適切な工学的管理方法	工学的管理 (設備対策) は、危険有害性を排除するため、または作業員を危険有害性から防御するために使用される手法である。適切に設計された工学的管理 (設備対策) により、通常、作業者が関与することなく、作業者を効果的に保護することができる。 工学的管理 (設備対策) の基本: 工程管理 - 作業または作業工程に変更を加え危険性を低減する。
------------	--

個人保護措置	 
眼/顔面の保護	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 十分な換気のもとで作業をおこなうこと ▶
皮膚の保護	以下の手の保護具を参照してください。
手/足の保護	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保護手袋を着用すること。 ▶ ゴム製などの安全靴または安全長靴を着用すること。 ▶ 人によっては何らかの皮膚刺激を生じることがある。手袋および他の保護具を脱ぐ際には、あらゆる皮膚接触を避けるよう細心の注意を払うこと。 ▶
身体の保護	以下の他の保護具を参照してください。
他の保護	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 防護用密閉服(つなぎ型) ▶ 塩化ビニル製エプロン ▶ 保護クリーム ▶ 皮膚洗浄クリーム ▶ 洗眼用設備

呼吸用保護具

セクション9 物理的及び化学的性質

物理的および化学的性質に関する基本情報

外観	透明な液体		
物理的状態	液体	比重 (水 = 1)	1.127 g / cm ³
臭い	データ無し	n-オクタノール/水 分配係数	データ無し
臭気閾値	データ無し	自然発火温度 (°C)	データ無し
pH (製品)	データ無し	熱分解温度	データ無し
融点 / 凝固点 (°C)	データ無し	粘度 (cSt)	データ無し
沸点 / 沸騰範囲 (°C)	データ無し	分子量 (g/mol)	データ無し
引火点 (°C)	67 °C	味	データ無し
蒸発速度	データ無し Not Available	爆発性	データ無し
引火性	データ無し	酸化作用	データ無し
爆発範囲-上限 (%)	データ無し	表面張力 (dyn/cm or mN/m)	データ無し
爆発範囲-下限 (%)	データ無し	揮発成分 (%vol)	データ無し
蒸気圧 (kPa)	データ無し	ガスグループ	データ無し
水溶解性	混ざらない	溶液のpH (1%)	データ無し
蒸気密度 (大気 = 1)	データ無し	VOC g/L	データ無し
ナノフォーム溶解度		ナノフォーム粒子特性	
粒子サイズ			

セクション10 安定性及び反応性

反応性	セクション 7 参照
化学的安定性	製品は安定しており、危険な重合反応は起こらないと考えられる。
危険有害反応可能性	セクション 7 参照
避けるべき条件	セクション 7 参照
混触危険物質	セクション 7 参照
危険有害な分解生成物	セクション 5 参照

セクション11 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

吸入した場合	本物質は、(動物モデルを用いたEC指令の分類に基づく) 有害な健康影響を及ぼす物質または気道刺激性物質とは考えられていない。それでも
--------	--

	なお、作業環境においては、適正衛生規範 (GHP) に従いばく露を最小限に抑え、適切な管理策を講じるべきである。
飲み込んだ場合	可溶性バリウム化合物の摂取は、滑らかな横紋筋および心筋の収縮（しばしば暴力的で痛みを伴う）、ゆっくりとした不整脈、高血圧、けいれん、呼吸不全により、消化管粘膜潰瘍、顔および首筋肉の緊張、胃腸炎、嘔吐、下痢、筋肉の震えおよび麻痺、不安、脱力感、呼吸困難、心臓の不規則性を引き起こす可能性がある。 EC指令または他の分類基準により、「飲み込むと有害」に分類されていない。これは、裏付けとなる動物またはヒトにおける証拠が不足しているためである。
皮膚に付着した場合	皮膚に接触した場合、皮膚炎を引き起こす可能性がある。 皮膚疾患がある場合、症状を悪化させることがある。 皮膚接触により、(EC指令の分類に基づく) 有害な健康影響を及ぼす物質とは考えられていない; 外傷、病変部または擦り傷を通じて体内に侵入すると、健康被害を引き起こすことがある。 開放創、擦り傷または炎症がある場合は、皮膚への接触を避けること。 切創、擦り傷または病変部などを通じて血流に侵入すると、悪影響を及ぼす全身性疾患を引き起こすことがある。使用前に皮膚を検査し、あらゆる外傷を適切に保護しておくこと。
眼に入った場合	本物質が、相当数の人の眼に刺激を引き起こす可能性、および/または実験動物への点眼後、24時間以上も見られる重大な眼病変を生じる可能性があることを示唆する証拠がある、またはこれらのことが実際の経験により予見される。 反復または長期的な眼との接触により、結膜の一時的な発赤 (風傷に似ている) (結膜炎) を特徴とする炎症を引き起こすことがある; 一時的な視覚障害や他の一時的な眼障害/潰瘍が発生することがある。
慢性毒性	本製品の長期吸入 (職業ばく露など) は、癌発症リスクを高めることが研究データにより確認されている。 人によっては、皮膚に付着することにより、感受性反応を生じる可能性が高くなると考えられる。 可溶性ケイ酸塩は潜在的な感受性を示さない。細菌および動物での試験では、突然変異または出生異常が引き起こされることは証明されていない。

内分泌かく乱特性

データ無し

液体添加物 1	吸気 LC50 Rat; 4,178mg/L(4hr)	飲み込み LD50-Rabbit; 1,040 mg/kg
アミン4	飲み込み LD-50 Rat - 550 mg/kg	皮膚 Rat >1,000 mg/kg
アミン5	飲み込み、吸気、皮膚 LD50- Rat 571 mg/kg, Rat 4.0 mg/L 4hr(aerosol), Rabbit 750 mg/kg	
液体添加物 2	飲み込み LD50- Rat; 1,780 mg/kg	
2-piperazin-1-ylethyamine	吸気、飲み込み LD50 Rabbit; 867 mg/kg Rat; 1470 mg/kg	刺激性
	毒性	刺激性
	毒性	刺激性
	毒性	刺激性
	毒性	刺激性

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

凡例: 1. IUCLID毒性データ 2. 欧州ECHA登録物質 - 生態毒性情報 - 水生毒性 3. EPIWIN Suite V3.12 (QSAR) - 水生毒性データ (予測) 4. 米国環境保護庁, Ecotoxデータベース - 水生毒性データ 5. ECETOC水生環境有害性評価データ 6. NITE (日本) - 生物濃縮性データ 7. METI (日本) - 生物濃縮性データ 8. ベンダーデータ から抽出

水生生物に対して有害であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。
 表層水や平均高水位線以下の潮間帯域への流入を阻止すること。設備の洗浄もしくは設備の洗浄水の処理に際して、水域を汚染しないこと。
 製品の使用により生じた廃棄物は、現場もしくは許可を受けた廃棄物処理場において処理すること。

残留性・分解性

成分	残留性: 水域/土壌	残留性: 大気

生体蓄積性

成分	生物濃縮性

土壌中の移動性

成分	移動性

内分泌かく乱特性

データ無し

セクション13 廃棄上の注意

廃棄方法

製品/容器/包装の廃棄方法	
	<ul style="list-style-type: none">▶ 容器は空であっても化学的な危険有害性を有していることがある。▶ 可能な場合、適切な再使用/リサイクルのため、製造者に返送すること。▶ 器具の洗浄に用いた洗浄水は、排出する前にすべて回収し適切な処理を施す必要がある。▶ 製造者にリサイクルの可否を問い合わせ、可能な場合はリサイクルすること。▶ 廃棄する場合は廃棄物の処理を管理している都道府県・市町村に問い合わせること。

セクション14 輸送上の注意

陸上輸送 (ADG): 危険物輸送規制対象外

航空輸送 (ICAO-IATA / DGR): 危険物輸送規制対象外

海上輸送 (IMDG-Code / GGVSee): 危険物輸送規制対象外

MARPOL 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送

該当しない

MARPOL 附属書 V 及び IMSBC コードによるばら積み輸送

製品名	グループ
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し

ICG コードによるばら積み輸送

製品名	輸送タイプ
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し

セクション15 適用法令

物質又は混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

Japan Occupational Exposure Limits - Carcinogens

ケミカル フットプリント プロジェクト - 高懸念化学物質リスト

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質 - グループ 1 : ヒトに対する発がん性がある

日本 労働安全衛生法

bis[(dimethylamino)methyl]phenol に関する適用法令

日本 労働安全衛生法

2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol に関する適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 優先評価化学物質

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

二酸化チタン に関する適用法令

Japan Occupational Exposure Limits - Carcinogens

ケミカル フットプリント プロジェクト - 高懸念化学物質リスト

世界保健機関(WHO) ナノ物質製造のための提案職業ばく露限度(OEL)

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質 - グループ 2B : ヒトに対して発がん性がある可能性がある

日本 労働安全衛生法

アルミナホウ珪酸ガラス に関する適用法令

日本 粉塵の許容濃度

二酸化ケイ素 に関する適用法令

世界保健機関(WHO) ナノ物質製造のための提案職業ばく露限度(OEL)

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

硫酸バリウム に関する適用法令

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 政府によるGHS分類

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 製造輸入量の届出を要しない物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本安衛法: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律: 優先評価化学物質

日本 政府によるGHS分類

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 製造輸入量の届出を要しない物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本 許容濃度等

日本安衛法: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 製造輸入量の届出を要しない物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本 粉塵の許容濃度

日本毒物および劇物取締法 - 政令(第2条)劇物

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
文書の交付

政令名称	政令番号

名称等を表示すべき危険物及び有害物

政令名称	政令番号

製造の許可を受けるべき有害物

政令名称	政令番号
該当しない	該当しない

関連する法令・条例

危険物 - 酸化性の物	該当しない
危険物 - 引火性の物	該当しない
有機溶剤	該当しない
特定化学物質	該当しない

労働安全衛生法

化管法
-

分類	政令名称	政令番号
該当しない	該当しない	該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

化審法

優先評価化学物質	
第1種特定化学物質	該当しない
第2種特定化学物質	該当しない
監視化学物質	該当しない

一般化学物質 二酸化ケイ素, ビス (ジメチルアミノメチル) フェノール, ピグメント ホワイト-6, 二酸化ケイ素, 硫酸バリウム

国別インベントリ状況

国別インベントリ	状況
オーストラリア - AIIC / オーストラリア非工業用	
カナダ - DSL	
カナダ - NDSL	
中国 - IECSC	
欧州 - EINEC / ELINCS / NLP	
日本 - ENCS	
韓国 - KECI	
ニュージーランド - NZIoC	
フィリピン - PICCS	
米国 - TSCA	
台湾 - TCSI	
メキシコ - INSQ	
ベトナム - NCI	
ロシア - FBEPH	
凡例:	

セクション16 その他の情報

改訂日	05/18/2021
最初の発行日	02/10/2021

SDSバージョンの概要

バージョン	改訂日	更新されたセクション
1.5.2.1	04/26/2021	規制の変更
1.5.3.1	05/13/2021	規制の変更
1.5.3.1	05/17/2021	成分

他の情報

製品および各成分の分類は、公式かつ信頼性の高い情報源や、参考文献を使用したChemwatch分類委員会独自の評価によるものです。SDSはハザードコミュニケーションのツールであり、リスクアセスメントの一助として使用されるべきである。掲載されているハザードが、作業場やその他の環境においてリスクをもたらすか否かは、様々な要素により決定される。暴露シナリオを参照することにより、リスクが特定されることもある。使用規模、使用頻度および現行の設備管理も考慮しなければならない。

ChemwatchのAuthorITeで作成しました。